

慶應義塾大学 総合政策学部，環境情報学部，政策・メディア研究科
人間環境科学分野 助教（有期） 募集

総合政策学部，環境情報学部，政策・メディア研究科では，人間環境科学分野の助教（有期）を公募いたします．

情報科学技術の発展はとどまることを知らず，とくに昨今の生成 AI の急速な普及は私たちの生活や価値観を激変させています．このような社会の予測不能な変化に適応し，人々の生活を豊かで健全な方向へと導くためには，人間の特性を正しく理解することが必要不可欠です．その普遍性や可変性を考慮したうえで，主体的かつ柔軟な思考をもって社会課題の解決や政策の立案へとつなげられる人材の育成が，今まさに求められています．

本公募では，湘南藤沢キャンパス（SFC）の学際的な教育・研究環境のもと，異分野の教員たちとの有機的なコラボレーションを通じて，世界をリードする「人間環境科学」を共に推進していただける方を募集します．

なお，慶應義塾は，「協生環境推進憲章」に基づき，ダイバーシティの実現を推進しています．教員採用の人事審査において，年齢・性別・SOGI（性的指向・性自認）・障害・文化・国籍・人種・信条・ライフスタイルを理由とするいかなる差別も行わないことを申し合わせています．また，慶應義塾では男女共同参画を推進しています．

募集要項

1. 所属機関名・部署名
慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（SFC） 環境情報学部
2. 所在地
神奈川県藤沢市遠藤 5322
3. 職種
助教（有期）
4. 待遇
給与は慶應義塾の規程に基づき，年齢・学歴・職歴などにより決定
社会保険加入，通勤交通費補助
5. 任期
最長 5 年（単年度契約．双方の合意に基づき最大 4 回の契約更新ができる）
6. 勤務形態

常勤

7. 人員

1 名

8. 研究分野

人間と環境のインタラクションに着目し、「身体」「心」「社会」の健康の維持・向上に資する研究分野

9. 担当科目

学部科目，大学院科目など

（年間 2 科目（学期につき 1 科目）を担当いただく予定です）

10. その他の業務内容

塾内各種委員会，諸会議出席など

11. 応募資格

(1) 慶應義塾および SFC の教育・研究理念に共感できる。

(2) 自らの専門分野に関する博士の学位を有するか，着任時までに取得している。

(3) 日本語と英語の双方を教育・研究において用いることができる。

（とくに，英語による授業を 1 科目担当いただくことを期待しています）

(4) 自らの専門領域の研究だけでなく，他分野の専門家等と積極的に協働し，教育・研究を推進できる。

(5) 着任後，日本に在住し，SFC に通勤できる。

12. 着任時期

2027 年度

13. 応募書類

以下の書類を WEB エントリーシステムから電子媒体で提出。書類はすべて PDF 形式指定とする。

【WEB エントリーシステム】

<https://entry.jinji.keio.ac.jp//index.php?id=20263>

(1) 学歴・職務経歴書（様式自由。専門領域，教歴に関する情報は必ず含めること）

(2) 研究業績一覧表（様式自由。論文（査読の有無），書籍，学会発表，担当授業，その他社会活動など）

(3) 3 点程度の主要論文の抜き刷りまたは制作物の写し

(4) これまでの研究内容の紹介，今後の教育・研究に関する展望および SFC への貢献の構想をまとめた志望理由書（A4 版 3～4 枚）

(5) 学位記の写しまたは学位取得証明書

学位未取得の場合は，システム内から代用届のフォーマットをダウンロードしてアップロードすることとする。

- (6) 推薦書（2名） ※推薦者から以下の URL より推薦書を提出
（ファイル名は「応募者氏名_推薦者氏名. pdf」）

<https://forms.gle/xVVxEaCFwwzMcTcj6>

ファイル名の例：応募者が慶應太郎，推薦者が藤沢花子の場合
TaroKeio_HanakoFujisawa.pdf

14. 書類提出締切

2026 年 9 月 28 日（月）13：00

15. 選抜プロセスおよび採否の決定

書類審査，第一次面接（模擬授業を含む場合あり），第二次面接を経て採否の決定を行う。ただし，選考過程における採用決定に関する情報は非公開とする。なお採否は選考過程終了後，応募者各位にメールで通知する。また，内定前に，必要に応じて本学または外部業者によるバックグラウンドチェックを実施することがある。実施する場合には，事前に調査同意書の提出を依頼する。

16. 問い合わせ先

慶應義塾湘南藤沢事務室 総務担当人事採用室

jinji-fro@sfc.keio.ac.jp

17. SFC についての情報

<https://www.keio.ac.jp/ja/sfc/>

18. その他

【助教（有期）について】

「助教（有期）」は 2026 年度より総合政策学部，環境情報学部，政策・メディア研究科に新たに設置された制度です。この制度では，ポスドク研究者としてのキャリアでは経験し得ない「教育」や「学務」も経験してもらうことで，将来，研究室を主宰する大学教員になるために必要なスキルを在任期間中にトレーニングしていただくことを目的としています。応募に際しては，総合政策学部，環境情報学部，政策・メディア研究科の専任教員のなかから自身のメンターとなってもらいたい教員 1 名（または 2 名）を選び，以下のフォームよりご連絡のうえ，受入の許可を得たうえで応募してください。着任後はメンター教員のもとで，学部研究会や修士研究会の運営を『学ぶ』という形で，これに携わっていただきます。

<https://forms.gle/uEmzLPUGLVGnW27P8>

助教（有期）には，異分野の教員との積極的なコラボレーションも含め，学問横断的な教育・研究を志向する SFC の環境を最大限に活用してもらいたいと考えています。自身の専門性を拡張した後に，世界を舞台に大いに活躍していただくことを期待してい

ます.

【安全保障輸出管理について】

慶應義塾は、「外国為替及び外国貿易法」等に基づく安全保障輸出管理を行っています.

それにより、採用決定後においても、希望する教育や研究ができない場合があります.

※詳細については、以下の経済産業省のウェブサイトを参照してください.

《経済産業省ウェブサイト》 <https://www.meti.go.jp/policy/ampo/>

2026 年 8 月

慶應義塾大学

総合政策学部長

環境情報学部長

政策・メディア研究科委員長